



釧公大だより

# AURORA



令和6年度 学位記授与式 2025年(令和7年)3月23日

**東日本大震災により被災された学生に対し、引き続き経済的支援を行っています。**

この震災により入学金や授業料の納付が困難となった学生に対して、入学金の免除や授業料の減免を行っています。

ご相談については、事務局学生課までお問い合わせください。

## CONTENTS

学長メッセージ	2
退職教員あいさつ	3
新任教員紹介・大学ニュース	5
留学を終えて・活躍する公立大生・ 大学年間スケジュール	6
学生からのメッセージ	7
就職戦線最新情報	8



## ひがし北海道と釧路公立大学

釧路公立大学学長 白川 欽 哉

毎年秋になると、釧路公立大学では「ひがし北海道地域経済・金融フォーラム」が開催されます。小路前学長と中村地域経済研究センター長、そして地元の金融機関で活躍する卒業生の方々によって2021年度に企画・実施されたのが始まりです。

2024年度最初の講演者は日本銀行釧路支店長の鈴木正信氏でした。ありのままの自然が生み出す景観は来訪者を魅了し、延伸した高速道路や太平洋に開かれた港は国内外の物流基盤となっている、という指摘は道東経済の将来につながるお話でした。加えて十勝川、阿寒、川湯、知床などの温泉郷、地元食材を活かした料理店や宿泊施設、畜産とバイオガス・太陽光発電の結合、新しい栽培・養殖漁業、農業のIT化、高度な食品加工技術など、道東には多種多様な潜在力があることにも気づかされました。今後は、道東経済を俯瞰し多様な事業者の分業と連携をコーディネートする連合体が政治・行政を巻き込んで生まれることを期待します。

そうした連携は、第二部金融セミナーに御登壇いただいた道東の信用金庫と信用組合の設立理念である相互扶助や共存共栄の精神にも支えられていると感じました。地域の企業や個人事業主の継続を支援し、また新しい事業の創出を後押しする「信金さんや信組さん」は地域経済に不可欠の存在です。大地みらい信用金庫からは**地域商社**の設立や**地域の価値創造**の取組みについて、網走信用金庫からは**補助金申請支援**や**ビジネスマッチング**について、帯広信用金庫からは**とちかち酒文化再現プロジェクト**について、北見信用金庫からは**スマート農業への移行支援**について、釧路信用金庫からは**地元密着のきめ細やかな伴走型支援**について、釧路信用組合からは**個人事業主の特殊事情に寄り添った創業支援**の事例について説明がなされました。金融機関への就職を考えている学生は、地域金融の現実を知るべく、上記太文字のキーワードを調べてみて下さい。

話は前後しますが、フォーラム第一部では、本学の卒業生で経営者として活躍しておられる伊藤

和宏氏（「伊藤デイリー」代表取締役社長）と中島代博氏（「かね彦」代表取締役）の講演を拝聴することができました。フォーラムの初めての企画でしたが、お二人の企業家精神あふれる発想と取組みが大変興味深かったです。伊藤社長からは、昨今の燃料や肥料の価格高騰のなかバイオガスや液肥の利用によってコスト低減を図ったり、高付加価値の和牛の生産に乗り出したりするなど、アイデアと行動力で企業を成長させてきた実例が紹介されました。

中島社長からは、江戸時代文化文政期（NHKで放映中の「べらぼう」の時代）に加賀藩で米や魚の商売をしていた商家の末裔が明治半ばに札幌の二条市場で鮮魚を販売するようになったこと、大正七年から現在の「かね彦」を代表する蒲鉾の生産に乗り出したことが紹介されました。中島社長は6代目で、老舗看板を未来に継承すべくさまざまな商品開発を行い、同社の「研究と誠実」、「伝統と革新」の理念を追求してこられたとのこと。研究肌で、優しいお人柄が伝わってくる語り口が印象的でした。

フォーラム第三部は本学の学生たちによる研究発表で、10グループが地域経済の活性化を共通テーマに、研究対象とした市町村の事業者や自治体の取組みを調査し、若者目線からの提言を発表していました。浜中町の乳業メーカーのブランド化、同町での新規就農支援、釧路港の改修・増設の経済効果、駅前再開発と空き店舗利用、ふるさと納税と地域おこし（鶴居村、根室市）、ビジネス・エコシステムと酪農業（鶴居村）、根室市の水産業の歴史・現状・課題、キッチンカーの活用と駅前開発といった事例は、他の地方経済にも共通する課題と解決のアイデアを提供していました。最終的な答えを出すことよりも、仲間たちと悩み、失敗と改善を繰り返す、という経験が何よりも一人ひとりの財産になると思います。学生たちの成果発表の場が、さらに広がりを持つことを期待してやみません。



## 教員生活を終えるに際しまして感謝申し上げます。

教授 宮下 徹

私は開学5年目に当たる平成4年（1992年）に講師として着任し、以来30年余りマクロ経済や経済成長に関わる科目を担当してきました。ご承知のとおり1990年代初頭という時期は日本社会・経済の大きな変わり目で、バブル崩壊のあとの「失われた30年」と呼ばれることとなった停滞期に「経済成長」についての科目を担当するのは難題でした。「なぜGDPは増加するのか？」というより「なぜ日本の経済成長は止まったのか？」を考えなければなりません。過去1960年代から80年代まで長きに渡る高度成長やそれに続く安定成長の時代に形成された考え方ではよく対処できず、講義の工夫に七転八倒してきました。これも良き経験・思い出です。授業や演習に参加してくれた多くの学生の皆さんに感謝します。日本社会・経済の大きな出来事や変化を学生の皆さんに伝え、また共に考えることに腐心するという事はかけがえのない経験でした。

またこの30年間で日本の大学をめぐる状況も大きく変わりました。1992年に大学受験を迎えた18歳人口

「団塊ジュニア世代」は200万人を超えていました。この数字は現時点では半減しています。当時の思い出を上げますと、90年代では現在とは定員や募集方法は若干異なりますが本学中期日程入試でも採点時間は現在の4～5倍はかかりました。（募集人数に対して受験者が相当多いわけで、当時日本全体では受験者数と募集定員はおよそ2対1だったそうです。その後大学数の増加と少子化により、現在ではほぼ1対1近くなっています。）

状況変化につれて様々な大学改革案がこれからも検討・実施されていくでしょう。この中にあっても結局教職員と学生の皆さんとの間に良い信頼関係を築き得るのかが肝心であることは変わらないと思います。私の経験を少し述べます。経済学もなんのそので、原付バイクで日本一周をしてその旅行記を演習の論文として提出してきた学生さんがいました。実におもしろい体験や人間・社会への洞察がありました。また思わぬところで卒業生の皆さんとお会いすることもあります。たとえば航空関係に勤めている卒業生に偶然羽田空港で出会い、声をかけていただいたり、一時期父母が住んでいた茨城県の某自治体の役場でお世話になった職員の方が卒業生だったということもありました。多くの学生の皆さんと長きに渡る関係を持ち得るのは本当に幸せなことです。改めまして、学生の皆さん、そして教職員の皆様にお世話になりましたことに心よりお礼申し上げます。



## 退職のご挨拶と御礼

准教授 千田 航

このたび、3月末で釧路公立大学から退職することになりました。2017年4月に着任してから8年間、釧路公立大学で楽しく過ごすことができました。これも公立大の教職員の皆様、学生・卒業生の皆様にとってもよくしていただいたおかげです。

釧路公立大学では「政治学」「行政学」「地方自治論」を担当しました。公立大の学生は真面目で、講義も静かに聴いてくれるので本当に教えやすい環境でした。真面目過ぎるのか、201教室の一番奥の窓側で珍しく私語をしている学生がおり、注意したところ大きな声で「すみませんでした」と言われたのにはびっくりしましたが。専門演習でも学生の真面目さは変わらず、難しいレポート課題に一生懸命に取り組んでくれました。

担当した科目のなかで「地方自治論」は今まで教えたこともない科目でした。講義の準備は大変でしたが、

担当できたからこそ釧路市や地域との接点ができたとように思います。講義内や議場で釧路市議会と学生の意見交換会をできましたし、2024年度から始まった「地域共生社会論」では、くらしごとの榎部さんや北海道セーフティネット協議会の高橋さんなど釧路で活動する人々の話を学生に聞いてもらう機会も作ることができました。こうしたさまざまな人との交流はこれからの人生の糧になると 생각합니다。

釧路の自然の厳しさも経験しました。赴任して2年目くらいだったと思いますが、中期日程の試験監督で移動する前日、釧路で大雪が降りました。その日は夜まで研究室にいて、いざ帰ろうと思ったら車はすでに駐車場から出られなくなっていました。仕方なく腰ぐらいまである雪を漕いで30分くらいかけて帰りましたが、今までで一番死ぬかもしれないと思った経験でした。

実際、こうした厳しさを感じたのはごくわずかで、教職員の皆様やゼミ生とおいしい食事やお酒を公立大周辺や末広で楽しみ、道外から来る友人とともに厚岸や川湯温泉に行くなど、これまでに味わえなかった経験をたくさんすることができました。

皆様からいただいた御恩に感謝しつつ、釧路公立大学の益々の発展を祈念しております。本当にありがとうございました。



## 退職のご挨拶と御礼

准教授 胡 青

3月末に釧路公立大学を退職することになりました。2018年4月からの勤務期間中、多くの方々大変お世話になり、心から感謝申し上げます。この間、北海道の美しい風景と温かい人々に触れ、充実した日々を過ごすことができました。

本学で私が担当していた「ミクロ経済学」「ミクロ経済分析」「産業組織論」の講義には、多くの学生が参加してくれました。300人以上の学生が集まる大教室での授業では、学生たちの学習熱意を身をもって感じることができました。その一方で、自分自身の指導力も磨かれる貴重な経験となりました。授業では、黒板への板書やPowerPointプレゼンテーションなど、さまざまな方法を駆使してきました。新型コロナウイルスの流行により、オンライン授業にも徐々に慣れていきました。ウイルスの影響が和らいだ後は、オンラインと対面の授業方法を組み合わせることで、より柔

軟で効果的な指導方法を模索し、その過程で自分の指導能力が大幅に向上したと実感しています。

研究活動においても、本学は私に大きな支援を提供してくれました。研究に集中できる環境の中で、私の研究能力は飛躍的に向上しました。この期間中に、多くの優れた論文を発表することができ、大学には深く感謝しています。

国際交流委員会のメンバーとして、交換留学生在が本学に対して持つ熱意を目の当たりにし、学校が国際交流を重視していることを実感しました。交換留学プログラムを通じて、学生たちの言語能力の向上や外国文化への理解の深化を目の当たりにし、彼らの成長を心から嬉しく思いました。これらの交流は、学生たちに新たな視野を開き、国際社会で活躍する力を養うのに役立っていると確信しています。

最後に、皆様のこれまでのご助力に心から感謝申し上げます。教職員の皆様と学生の皆さんが、今後ますます素晴らしい成果を収められることをお祈り申し上げます。この場をお借りして、改めて感謝の気持ちを述べさせていただきます、ありがとうございました。



## 退職のご挨拶と御礼

准教授 岩本 真利絵

2025年4月から京都府に転居転職するため、2024年度限りで釧路公立大学を退職することになりました。2020年4月に中国語担当教員として着任して以来、教職員のみなさまおよび学生のみなさんに支えられて、この5年間を元気に過ごすことができました。心よりお礼申し上げます。今後は遠くから釧路公立大学の発展を見守ります。

私が釧路にやって来たのは、ちょうど新型コロナウイルスが猛威をふるっていた時期でした。子どものころから憧れていた北海道生活を実現できた喜びもありましたが、全く知り合いのいない場所で、緊急事態宣言のため外出もままならない状況のなか、とても不安でした。ホームシック一歩手前で踏みとどまることができたのは、白川学長をはじめとする同僚の先生方が温かく接してくださったからでした。釧路公立大学の

アットホームな雰囲気に本当に救われました。

釧路公立大学で中国語担当教員として働いてみて、自分の予想以上に学生のみなさんがまじめで素直で、そしてどんどん成長していく姿を見ることができ、本当に楽しかったです。さらに、授業以外でもいくつかのサークルの名ばかり顧問を引き受け、また釧路公立大学生協の監事にもなったので、学生の学習以外の活動にも少々触れる機会がありました。自ら計画を立案して試行錯誤しながら課外活動を進める姿を目の当たりにして、自分もがんばらなければいけないと、気が引き締まる思いがしました。

5年間の釧路公立大学生活は私にとっては幸せな毎日でしたが、無念に思っていることが一つだけあります。それは、台湾との国際交流がコロナ禍と協定校の閉校によって満足に行えなかったことです。特に台湾留学を夢見て入学した学生に対しては交換留学の機会を提供できず、本当に申し訳なく思っています。私の力不足のため、この原稿を執筆している2024年12月末現在、まだ新たな協定校との協定締結の実現に至っていません。早期に台湾との国際交流が復活することを祈願しています。

## 新任教員あいさつ



### 新任のご挨拶

はたけやま ひろむ  
准教授 畠山 啓

(担当科目: 専門演習、経営戦略論、組織間関係論、アントレプレナーシップ論など)

2024年度10月より着任しました畠山啓です。専門は経営学、その中でも「企業の社会的責任(CSR)」です。

現在、企業は経済的責任(利益を出す)・法的責任(法律を守る)に加え、3つ目の責任として社会的責任も求められています。みなさんはCSRと聞くとどのようなことを思い浮かべますか。コンプライアンス、環境対策、社会貢献などがよく連想される事柄です。これらの事柄は社会的責任として企業が取り組むべき事柄ではあるのですが、これだけでは少し足りないのです。2010年に社会的責任の国際規格であるISO26000が発行され、社会的責任とは「自社の決定や活動が社

会や環境に与える影響に対して責任を負うこと」とされ、取り組み項目には環境対策や社会貢献に加え、コーポレートガバナンス・労働・人権・消費者課題なども含まれるようになりました。企業はこれらの項目で自社の活動が社会や環境にマイナスの影響を与えないようにし、もし問題が生じたら自社の引き起こしたことなのでしっかり責任を取ることが求められるのです。

さてこのCSRの観点から本学周辺にある釧路湿原で起きている太陽光パネルの設置はどのように捉えることができるのでしょうか。設置した発電事業者は経済的・法的責任を果たしています。しかし景観や生態系への影響が生じている中で、社会的責任を果たしていると言えるのでしょうか。経済的・法的責任を果たすだけでは社会と環境にマイナスな影響を与えることが避けられず起きてしまうのです。したがって3つ目の責任である社会的責任が重要になるのです。

本学では講義やゼミを通して学生のみなさんとCSRのあり方や重要性を考えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 新任教員紹介

准教授	岸田 泰則 (きしだ やすのり)	「企業システム入門」、「企業論」、「経営管理論」、「人的資源管理論」
准教授	孟 哲男 (もう てつお)	「韓国語Ⅲ・Ⅳ」、「アジア経済論」
講師	上西 晴也 (うえにし はるや)	「日本経済史Ⅰ・Ⅱ」、「経営史Ⅰ・Ⅱ」
講師	中嶋 彩佳 (なかじま あやか)	「英語」
講師	山中 仁吉 (やまなか じんきち)	「地方自治論」、「政治学(国際政治を含む)」、「行政学A・B」
講師	中野 凌太 (なかの りょうた)	「マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」、「応用マクロ経済学」、「日本経済論」
講師	増山 亮 (ますやま りょう)	「ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ」、「応用ミクロ経済学」、「ゲーム理論」

## 大学ニュース

### — 2024年度を振り返って —

- 4月1日(月) 交換留学生来日  
韓国の牧園大学より朴 Yeseul (パク イェスル) さん、梁 智閔(ヤン ジミン) さん、金 永徹(キム ヨンチョル) さんが本学の交換留学生として来日した。
- 4月8日(月) 第38期生入学  
午前11時より本学38期生の入学式が挙行され、302名(男222名、女80名)が晴れて入学した。
- 8月3日(土) オープンキャンパス  
本学の関心を高めてもらうためオープンキャンパスを開催。今年で28回目となり、297名の参加者は熱心に話を聞いていた。
- 10月19日(土)・20日(日) KPUフェスタ(大学祭)  
趣向を凝らした様々なイベントが催され、盛況なものとなった。

- 11月21日(木) 令和7年度特別選抜試験  
全国より101名の志願者があり、その結果101名が合格した。
- 令和7年度一般入試(前期日程)  
大学入学共通テストをもって選考。913名の志願者があり、3月5日(水)に合格発表が行われた。
- 3月8日(土) 令和7年度一般入試(中期日程)  
釧路・札幌・盛岡・東京・大阪の5会場にて実施。866名の志願者があり、3月21日(金)に合格発表が行われた。
- 3月23日(日) 令和6年度学位記授与式  
第34期の卒業生289名が公立大生として堂々と学位記の授与を受け、さらに成績優秀な5名が特別表彰された。式の終了後、卒業生は学友と記念撮影などをし、別れを惜しみながら巣立っていった。

# 留学を終えて



## カナダ・キャピラノ大学派遣

経済学科3年 越川 真稟

バンクーバーで過ごした4か月は、私が想像したよりもはるかに充実したものになりました。ホストファミリーには、「今までホームステイした子のなかで一番質問が多い」と言われるくらいコミュニケーションをとり、本当に家族のように過ご

していました。ホストファザーと手話について話したのをきっかけに、話す言語だけでなく手話の勉強に挑戦したいと思っています。留学を終えて、より言語習得に対する意欲が湧き、将来の目標も沢山できました。留学先で出会えた家族や仲間、サポートして下さった方々への感謝は伝えきれないほどです。ありがとうございました。これからも応援していただけるよう、また会いたいと思ってもらえるよう努めていきたいです。



## 韓国・牧園大学派遣

経済学科4年 伊藤 一希

韓国に留学をしたいと思ったのはK-POPが好きという小さなきっかけでした。そこから推しの話していることを聞き取りたくて韓国語の勉強を始めました。実際に韓国に行ってみると文化や人々の考え方が日本と異なっていて、近い国なのにここ

まで違うのかと衝撃を受けました。韓国で経験することはすべてが新鮮で、今思い返すとどの瞬間も貴重な時間だったと感じます。留学に応募しようか迷っていた時は自分の韓国語の実力で大丈夫なのか、留学期生活をうまく送れるのか、などいろいろと不安になっていましたが、留学に挑戦して本当に良かったです。韓国に興味がある方や留学を迷っている方はぜひ、一歩踏み出してみてください！きっと韓国で素敵な時間があなたを待っています！

# 活躍する公立大生

2024年度は、釧路公立大学アメリカンフットボール部(GOLDEN CRANES)と釧路公立大学硬式野球部が素晴らしい活躍を見せました。たくさんのご声援ご支援、本当にありがとうございました。今後の活躍にもご期待ください！

## 釧路公立大学アメリカンフットボール部 (GOLDEN CRANES)



北海道アメリカンフットボール連盟主催の秋季1部リーグにて、昨年度優勝校である北海道大学を破り、4勝1敗にて創部初の準優勝。また、表彰式では、5つのポジションにてベストイレブンに選出されました。

## 釧路公立大学硬式野球部



北海道学生野球連盟主催の春季2部リーグで優勝し、入れ替え戦にて室蘭工業大学との死闘の結果、2戦2勝となり、8年ぶりに1部に昇格。1部リーグでは、2勝8敗の5位となり、令和7年度も1部リーグ残留が確定。また、3年生の部員がベストナインに選出されました。

# 2025年度(令和7年度)年間スケジュール

4月1日……学年始め	9月22日……後期授業開始	1月28日……後期定期試験(2/5迄)
7日……入学式	10月17日……大学祭(KPUフェスタ)	3月2日……卒業生発表
8日……オリエンテーション	(10/19迄)	8日……令和8年度一般選抜試験
10日……前期授業開始	11月22日……令和8年度特別選抜試験	14日……春期休業開始
6月25日……開学記念日	12月24日……冬期休業開始(1/7迄)	23日……学位記授与式
7月30日……前期定期試験(8/6迄)	令和8年	31日……後期終了
8月7日……夏期休業開始(9/21迄)	1月8日……授業開始	

# 卒|業|生|か|ら|の|メ|ッ|セ|ー|ジ



## 大学生活を振り返って

経済学科 佐藤 鈴花

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。大学生という新たな環境へ一歩踏み出す中、期待と同時に不安も抱えているかと思います。

私も入学当初は、親元を離れての暮らしや大学生活に不安を感じていました。しかし、授業や部活動、アルバイトを通して、気の許せる友人やいつでも相談に乗ってくださる先生と出会い、充実した4年間を送ることができました。長く感じていた4年間も終わってしまうとあっという間で、気づけば卒業を迎えていました。新入生のみなさんも、1日1日を大切に過ごし、大学生活で多くの学びや経験を得てほしいと思います。

最後になりますが、教授、大学関係者の皆様、友人、家族と多くの方々に支えられて卒業を迎えることができました。この場を借りて感謝を申し上げます。新入生のみなさんが実りある4年間を送ることができるよう心より願っております。



## 卒業にあたって

経済学科 安田 誉望

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。釧路公立大学へようこそ！今は新生活に向けて期待と不安が膨らむ時期だと思います。友好関係を築いたり、釧路という地での暮らしの話を知りたい方はまずはサークルや部活動に入ることをおすすめします。この大学にはスポーツや娯楽を楽しめるサークルが沢山あるので、色々検討してみてください。私は男子バスケットボール部に所属し、仲の良い先輩や後輩に出会うことができました。また、大学生活の4年間は自由な時間が沢山あります。勉学に励み資格取得を目指したり、アルバイトなどを通じて社会経験を積んだりする人もいます。新しい道や好きなことに必ず出会えると思うので、ここでの4年間で皆さんの将来に繋がる有意義な時間となることを願っています。

# 入|学|お|め|で|と|う

## 体 育 会

体育会会長

経済学科3年 與那覇 裕夢



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。高校生活が終わり、いよいよ大学生活が始まります。新生活への期待や楽しみが膨らむ一方で、不安を抱えている方も多くいると思います。大学は4年間というとても長い時間の中で多くの経験を積み重ねていく場所でもあります。勉強はもちろん、サークル活動やアルバイトなどを通して、さまざまな人と出会い、新たな経験を得ることで自分自身もさらに成長していくと思います。大学は最後の学生生活でもあるので、自分のやりたいこと、挑戦したいことを見つけて、後悔のないような充実した楽しい日々を送ってほしいです。

私も大学に入学した際の頃は、環境も全然違うところから一人で飛び込み、知り合いも一人もいない状態からスタートしました。さまざまなことに手を伸ばし、新しい人と出会い、多くの経験を得る中で、熱中できるものを見つけました。皆さんも、まずは積極的に動いて、いろいろなことに手を伸ばしてみてください。その中で、新しい人と出会い、多くの経験を得て、これからたくさんの思い出を作っていきましょう。

最後になりましたが、皆さんの大学生活がかけがえないものになりますよう、心より願っています。

## 文 化 部 会

文化部会長

経営学科3年 小野寺 淳志



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。ようこそ！釧路公立大学へ！

憧れの大学生活の始まりです。大学生になると、自由な時間がとても多くなります。できることが広がり、やりたいことがたくさんできる環境だからこそ、「あっという間の4年間」を大切に生活していただきたいです。勉強、サークル、バイトなど様々なものにチャレンジすると、みなさんの可能性が一段と広がってくるのではないかと思います。

私から、みなさんにひとつだけアドバイスをさせていただきます。それは、困ったときは誰かを頼ることです。できることが広がることは、その分リスクが広がること、「もしも」が身近にある、ということです。困ったときは、友だち、先輩、学生課、保健室などみなさんの味方はたくさんいます。ひとりで悩まず、たくさんの人を頼ってくださいね。

最後になりますが、皆さんの大学生活がかけがえない大学生活になることを心から願っております。

# 就 職 戦 線 最 新 情 報

## 卒業予定者の内定先リスト (現在の内定状況) 2025/03/23

- 農林漁業** 大矢根農場
- 建設業** 秋吉組、エクシオ・エンジニアリング北海道、Grant、スミセキ・コンテック、高砂熱学工業、田中組、ドーコン、中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京、日弘ヒーティング、橋本川島コーポレーション、ビッグ測量設計、北電工業、北電興業、北海電工、北海道キング設計、北海道セキスイハイム、松谷建設、丸本組、村井建設
- 製造業** アイリスオーヤマ、カチタス、キオクシア岩手、桐井製作所、ケイシイシイ、高橋電機、長府製作所、道東飼料、道東製めん、日立製作所、ホクレンくみあい飼料、牧家、ミナリスメディカル、もりもと、ヤマサ醤油、よつ葉乳業、ロングラン
- 卸売・小売業(卸売業)** グリムス、国分北海道、シナネン、新栄クリエイト、丹波屋、トヨタモビリティパーツ、マルイチ産商、三ツ輪商会、モロオ、ヤマタネ
- 卸売・小売業(小売業)** アイ・ティー・エックス、アインホールディングス、旭川スズキ販売、いーふらん、イオン北海道、I D O M、エイコー、エムデジ、真瞬、クレタ、コスモス薬品、サンデー、サンドラッグ、サンドラッグプラス、J R北海道フレッシュキヨスク、成城石井、セコマ、ツルハホールディングス、道北アークス、東名、トヨタモビリティ釧路、日産部品群馬販売、ニトリ、ネクステージ、ファーマライズホールディングス、福原、まいばすけっと、マックスバリュウ東海、ラルズ、良知経営
- 金融・保険業** あいおいニッセイ同和損害保険、旭川信用金庫、網走信用金庫、岩手銀行、帯広信用金庫、北日本銀行、北見信用金庫、釧路信用金庫、損害保険ジャパン、第四北越銀行、大地みらい信用金庫、筑波銀行、道南うみ街信用金庫、ニッテレ債権回収、日本銀行、日本生命保険、北部銀行、北洋銀行、北海道銀行、北海道信用保証協会、北海道民共済生活協同組合、北海道労働金庫、丸三証券、明治安田生命保険、山形銀行、ゆうちょ銀行
- 電力・ガス** いちたかガスワン、北ガスジェネックス、シンデン、北海道電力、リベラルソリューション
- 運輸・情報通信業** アースリンク、I I Jエンジニアリング、アイエックス・ナレッジ、エア・ウォーター物流、エイチ・エル・シー、HDC、エクナ、S I G、S C S K北海道、N T TデータN J K、エムコスミック、L I C、Olivier、K Y O S O、クリエティブ・コンサルタント、栗林商会、互信ホールディングス、シイエヌエス、SPIN TECHNOLOGY、セーファー、ソリューションプラス、S O M P Oシステムズ、津軽海峡フェリー、長野電鉄、日興システムソリューションズ、日本通運、日本交通、ピーマップ、BIPROGY、三ツ輪運輸、ヤマト運輸
- 不動産業** 大東建託、BRI、北海道住宅、三井不動産リアルティ札幌、リビングライフ
- サービス業** アイケア北海道、あいプラン、アクティオ、旭川商工会議所、Evand、A N A新千歳空港、S Dエンターテインメント、音更町農業協同組合、帯広大正農業協同組合、共成レンテム、

クオレガ、釧路倶楽部、釧路第一経営センター、小清水町農業協同組合、志戸平温泉、シリオン、税理士法人さくら総合会計、セキュア、全国共済農業協同組合連合会北海道本部、セントラルスポーツ、全日検 名古屋支部、SoaRize出版、第一岸本臨床検査センター、ティーアイアール、道東あさひ農業協同組合、特定非営利活動法人地域生活支援ネットワークサロン、新潟かがやき農業協同組合、日本K F Cホールディングス、日本年金機構、ノーザンミツワ、日立社会情報サービス、フォーイット、ベリーベスト法律事務所、ヘルスベイス、ホールハートスタッフ、ホクレン農業協同組合連合会、星野リゾート、北海道エアポート、北海道漁業協同組合連合会、北海道大学、北海道農業共済組合、本別町商工会、マークラインズ、マイナビ、未来教育財団、吉岡経営センター、リゾートトラスト

■**国家公務** 厚生労働省(北海道厚生局)、厚生労働省(北海道労働局)

■**地方公務** 秋田県警察、厚岸町役場、尼崎市役所、江別市役所、奥州市役所、帯広市役所、釧路市役所、黒石市役所、越谷市役所、寒河江市役所、更別村役場、千歳市役所、弟子屈町役場、十和田市役所、奈井江町役場、長野県庁、新潟県警察、富士宮市役所、北海道庁、宮古市役所、室蘭市役所

■**教員** 岩手県教員、北海道教員

## 令和6年度卒業予定者の就職状況 2025/03/23現在

### 1. 求人件数及び内定状況

区分	求人件数	卒業(予定)数	就職希望者	内定者数	内定率(%)	未定者数
男子	—	213	207	197	95.2	10
女子	—	79	79	76	96.2	3
共用	572	—	—	—	—	—
合計	572	292	286	273	95.5	13

### 2. 進路別内定状況

進路	男子	女子	計	割合
民間	172	64	236	86.4
公務	23	12	35	12.8
教員	2	—	2	0.7
自営	—	—	0	0.0
計	197	76	273	100.0
進学	—	—	0	—
無業	6	—	6	—
未定	10	3	13	—
合計	213	79	292	—

### 3. 産業別地域別内定状況

業種	釧路管内		北海道内		北海道外		計		合計	割合
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子		
製造	3	1	13	7	13	3	29	11	40	14.7
卸売・小売	1	3	17	8	19	4	37	15	52	19.0
金融・保険	—	3	19	10	12	2	31	15	46	16.8
運輸・情報	2	—	9	1	16	5	27	6	33	12.1
電力・ガス	—	—	1	2	1	1	2	3	5	1.8
サービス	3	2	24	3	21	9	48	14	62	22.7
公務	9	3	6	6	8	3	23	12	35	12.8
計	18	12	89	37	90	27	197	76	273	100.0
合計	30		126		117		273			
割合	11.0%		46.2%		42.9%		100.0%			

## ◎令和7年度前期授業料の納付について

前期授業料は4月30日までに納めてください。ATMやインターネットバンキング、及び金融機関での口座振込又は金融機関窓口にて同封の「振込依頼書」よりお振込みください。修学支援新制度による授業料の減免を希望される場合は、新年度に学生の皆さんにメールにて案内する給付型奨学金の手続き方法に従ってください。

授業料の分割納入等を希望される場合は、受付期間内に大学ホームページに記載している申請フォームから申請してください。

釧路公立大学だより 第71号  
2025年(令和7年)4月1日発行

◎発行元  
釧路公立大学  
〒085-8585 釧路市芦野4丁目1番1号  
TEL 0154-37-3211  
FAX 0154-37-3287  
経営企画課: TEL 0154-37-5089  
URL: <https://www.kushiro-pu.ac.jp/>

◎発行日  
毎年2回(4月1日、10月1日)